

第39回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和5年2月7日（火） 県庁4階大会議室	
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長 中出孝典（富山大学名誉教授） 委員 伊藤始（富山県立大学工学部教授） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 佐藤綾子（富山国際大学現代社会学部教授） 委員 前田陽子（税理士）	
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和4年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和4年度上半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和4年度上半期の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試 行結果について ④ 令和4年度上半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格 制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会	
審議対象期間	令和4年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）	
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：924件）	
一般競争入札	3億円以上	1件 (事案1) 小矢部川流域下水道二上浄化センター受変電設備更新
	1億円以上	1件 (事案2) 西部工業用水道事業高岡本線管路更新第6工区
	2千万円以上	3件 (事案3) 富山県立大学看護学部研究棟（3期）改修空調設備その他 (事案4) 白岩川ダム河川総合交付金テレメータ・放流警報監視制御設備更新 (事案5) ほ場整備 水橋石政地区 第9工区ほ場整備
指名競争入札	4件	(事案6) 主要地方道入善宇奈月線道路総合交付金（交安）消雪配管 (事案7) 主要地方道宇奈月大沢野線道路総合交付金（防災・災防）法粋工 (事案8) 主要地方道新湊庄川線道路総合交付金（防災・災防・修繕）舗装補修庄（金剛寺）工区 (事案9) 土地改良総合整備 早月加積中部地区 W-3号用水路第1工区
随意契約	1件	(事案10) 一般県道弘法称名立山停車場線落石対策施設応急対策
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会としての意見	令和4年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。	

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○令和4年度上半期の1者入札の割合が上昇しているのは何故か。</p>	<p>一概には言えないが、技術者が不足していること、また昨今のウクライナ情勢の長期化、円安の進行などによって資材調達がより難しくなってきたことなどが影響しているのではないかと考えている。</p>
<p>○事案1と同種の事業において、2件の特殊な類似工事を発注し、それぞれ同じ企業が落札している。今後も特殊な工事を定期的に発注するのであれば、特定の企業による実質的な独占のおそれがあるのではないか。</p>	<p>当該2件の工事は修繕工事であり、定期的に発注するものではない。</p>
<p>○事案3の工事について、1者棄権しているがなぜか。</p>	<p>詳細までは把握していないが、入札参加申請後により好条件の工事が発注されたり、見積と予定価格との間に乖離があったことなどが考えられる。</p>
<p>○事案5の工事について、週休2日制モデル対象工事としたため増額変更しているが、どのように積算しているのか。</p>	<p>発注時は、週休2日制を前提とした工期・単価設定とはなっていない。受注者からの週休2日制の申し出を了承し、県の要領により、別に定める週休2日制を前提とした単価である労務費、共通仮設費等の補正係数を乗じ、積算している。</p>
<p>○事案6の工事について、落札者が決定するまでの過程はどういったものか。</p>	<p>2回目の入札でも落札者が決定しなかったが、入札者の入札金額と予定価格との乖離が小さかったため、不落随契に移行。提出された見積額が予定価格の範囲内であったため、契約を締結した。</p>
<p>○事案7の工事について、施工面積は増加しているが、なぜ変更後の契約金額は減額となっているのか。</p>	<p>施工面積は精査の結果、増工となったが、現地の形状に合わせて一部を吹付砕工からモルタル吹付工に変更したことにより、契約金額は減額となったもの。</p>